

ヨセフが歩んだ契約の旅程



こんにちは。ぼくはヨセフ。みんなは、ぼくのことをどれくらい知っているのかな。夢を見て、お兄さんたちに奴隷として売られて、ポティファルの奥さんに濡れ衣を着せられて監獄に入り、パロ王の夢を解き明かして総理になったことはもう知っているよね。

日曜に、たくさんぼくについて聞いたでしょう。

でも、考えてみたことはあるかな。神様はなぜぼくのお母さんを早く天に召されたのか。お父さんが、お兄さんのところにぼくをお使いとして送らなかつたら、奴隷として売られることはなかつたのに・・・

なぜシケムに行って、お兄さんたちと羊の群れが無事であるかを見て来てくれと言ったのか。そういえば、ぼくには名前が2つあるのだけど、ヨセフという名前と、エジプトでつけてもらった名前のもつ意味について聞いたことがあるかな。

きょうは、そんなことについて、ひとつずつ見てみるね。

神様がヨセフにくださった契約の旅程についてもっとよく知るなら、みんなの契約の旅程も確認できると思うよ！

01. ヨセフの母ラケルが隠していた偶像テラフィム

テラフィムは、古代メソポタミアで崇拝されていた偶像です。テラフィムを家族の守護神として持つ家族が多くあって占いをするときにも用いました。エゼキエル 21:21 に、バビロンの王がテラフィムに伺いを立てると書かれています。

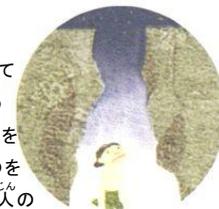
テラフィムは、おもに木や銀で作られていました。ふつうはとても小さいものですが、人の大きさのテラフィムもありました。ヨセフの母親ラケルは、ラケルの父親ラバンのテラフィムをこっそりと隠しておきました(創 31:34~35) サウル王がダビデを殺そうとしたとき、サウル王の娘は寝床に人くらいの大きさのテラフィムを置いて、ダビデがいるかのように見せてダビデを逃がしました。(1サムエル 19:13~16)。ダビデの時代にもテラフィムがあったということです。預言者ゼカリヤ、預言者ホセアの時代にも、人々はテラフィムを偶像として持っていました(ゼカリヤ 10:2、ホセア 3:4)。



母親を早くに亡くしたことはつらいことでしたが、偶像を持っていた母親とともにいたら、ヨセフは神様が願われる契約を持って準備することはできなかったでしょう。

02. 父ヤコブがヨセフを兄たちのところにお使いに行かせた理由

シケム(場所の名前であると同時に人名)は、父親のヤコブがお金を払って買った土地でした。そこでディナ(ヤコブのひとり娘)が恥ずかしい目にあう事件がありました。そのことを知ったディナの兄のレビとシメオンが悪だくみをたくらんで、その町すべての男の人を殺し、他の兄たちもその町にあるものをすべて奪います。ですからヤコブは、この地の住民であるカナン人とペリジ人の復讐を恐れていたのです(創 34章)。



時が経ち、ヘブロン谷にヤコブたちは住んですんでいて、ヨセフの兄たちはそこから離れた地のシケムで羊を飼っていました。ヤコブはヨセフの兄たちと羊が心配で仕方なかったのです。ヤコブには、ヨセフをシケムに行かせて確認するしか方法がありませんでした。シケムからドタンに移動していた兄たちに会いに行ったヨセフは、そこで奴隷として売られました。神様はすべての事件を、ヨセフをエジプトに送るために備えられたのでした。



03. ヨセフという名前のもつ意味はなんですか

ヤコブに10人の息子とひとりの娘が生まれるまで、ラケルには子どもが産まれませんでした。切なる願いを持っていたラケルに、ようやく与えられた息子がヨセフです。ヨセフは「加える」という意味があり、ラケルは「主がもうひとりの子を私に加えてくださるように」と言いました。ヨセフは、家系に与えられた神様からのプレゼントでした。

ヨセフは、エジプトの総理になったときに新しい名前をもらいました。「ツァフェナテ・パネアハ」という名前です。パロ王の夢を解き明かして与えられたこの名前には「神様が語られて、彼は生きる」という意味があります。そののち、ききんになったとき、いろいろな国の人に神様を知らせるため福音を直べ伝えるという名前になったのです。

私たちの生活に適用しよう!

神様はひとりひとりに、ヨセフのように、契約の旅程をくださいました。自分には問題のように見えて、苦痛することもあります。神様は過程だとされます。下の適用を黙想して書きましょう。

1. 私に起きた事件の中で神様が福音のために備えられた事件はなにかな
2. 神様が備えてくださった事件に対して感謝の祈りを書こう

